

第4回ZPSC役員会（合同）議事録

日時 平成21年12月18日（金）午後1時30分～3時20分
場所 東地区文化センター第3集会室

出席者 ZPSC 下田、廣瀬、館石、木下、鈴木、佐藤、土持
公民館 植松、井上、林、新井（記録）

1 平成22年度パソコンサポートクラブ役員の自己紹介

Aグループ 鈴木さん、Cグループ 佐藤さん、Dグループ 土持さん

2 平成22年度パソコン講座の計画について

（館から案を説明）

- ・回数は各館3回ずつ計9回。
- ・順番は東地区（5、6、7月）公民館（9、10、11月）北地区（12、1、2月）の順。
- ・内容はエクセル入門、ワード入門、はじめてのパソコンをそれぞれ1回ずつ。
- ・夜には講座を行わない。

（意見交換）

（パ）回数など受講者の気持ちを考えていくことも必要では。

（パ）予算的に4回できないのか。

（館）クラブへの謝礼支出については問題ないと思う。4回行うとすればやはり夜の講座も考えたい。

（パ）1ヶ月ごとに館を変えて講座を行ったらどうか。

（館）パソコンをその都度移動しなければならぬので、故障のリスク等を考えると各館集中して行ったほうが良い（パソコンを移動する要員確保のこともある）。

3 今後の講座等の長期展望について

（館から説明）

- ・現在のVISTA機のリースがあと2年度（平成24年3月末）で切れる。現況から、継続して新たな機器をリースすることは難しいと思われる。
- ・再リースできたとしても現在のVISTA機を更新する形になると思う。
- ・民間でもパソコンに関する教室は増えてきている。
- ・以上の理由から、リースが切れた時点で現行のパソコン講座については終了と考えてい

る。

(意見交換)

(館) 相談会で使用している98機も故障したら終わりという形になる。その場合、パソコンは持込みのみで行っていくことになる。

(パ) それではサポートクラブもここで「終わり」ということになりモチベーションが持続できるか。

(館) サポートクラブの存続と相談会についてこの2年の間につめていただきたい。館としてもいっしょに考えていきたい。(他市の様子などを例示した)

(パ) 市民が自分のパソコンを持参しても講座は行えると思う。

(館) 公民館でパソコンを使える環境をどうしていくか、課題になってくると認識している。(持込の場合、OSやソフト等環境がそれぞれ異なるため)

4 ボランティア養成講座について

(館から説明)

・サポートクラブからも要請のあった課題である、新しい方に加わってもらえるようボランティア養成講座を行う方法と現在の会員のスキルアップ講座を行う方法がある。予算の関係上両方は難しいが館としてもサポートしていきたい。

・行うとすれば時期は8月。

行うかどうかは講座の計画と併せて館とクラブで話し合って決めるものなので、1月中旬までに考えてほしい。

スキルアップ講座は実質的に難しい。

5 その他

(パ) Aグループとしては、無償でも良いから設営や片付けなどはやらずにパソコンを教えることだけを行いたい。

(パ) 講座の日に別の館で相談会があると大変である。

(パ) 新型インフルエンザが蔓延しているが市の対策は。

(館) 特に即中止ということはない。インフルエンザであれば受講生がほとんど来ることができないとか、その他台風等のよほどの自然災害であれば別だが。

(パ) 中止の場合に講座の補充はできるのか。

(館) パソコンのトラブルで行ったことがあるが、受講生や部屋の予約の関係もあるのでできないこともある。